

S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数 及びカーボン・エフィシエント指数の メソドロジー

2021年8月

この資料は翻訳版です。原文（英語版）と内容の相違がある場合は英語版の内容をご参照下さい。英語版は www.spdji.com よりご覧いただけます。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス：指数メソドロジー

目次

はじめに	3
指数の目的及びハイライト	3
補足資料	4
適格性基準及び指数構築	5
指数ユニバース	5
指数の計算	5
メディア及び利害関係者分析のオーバーレイ	6
銘柄の複数クラス	6
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数	7
S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数及びS&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・ カーボン・エフィシエント指数	8
S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント・セレクト指数	9
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント・セレクト指数	10
指数の維持	11
リバランス	11
売上高当たり炭素排出量の更新	11
四半期更新	11
追加	12
除外	12
コーポレート・アクション	12
計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ	12
基準日と過去履歴の入手可能性	13
指数データ	14
計算されるリターンのタイプ	14
指数ガバナンス	15
指数委員会	15
指数方針	16
発表	16
プロフォーマ・ファイル	16

休日のスケジュール	16
リバランス	16
予定外の市場の閉鎖	16
再計算の方針	17
お問い合わせ先	17
指数データの配信	18
ティッカー	18
指数データ	19
ウェブサイト	19
付属資料 I – Trucost	20
Trucostの環境登録リサーチ・プロセス	20
付属資料 II – メソドロジーの変更	21
S&P Dow Jones Indices 免責事項	23

はじめに

指数の目的及びハイライト

S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数：この指数は、適格性基準に規定されている通り、化石燃料埋蔵量を所有していない S&P/TOPIX 150（原指数）内の企業のパフォーマンスを測定します。

S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数：この指数は、S&P/TOPIX 150（原指数）内の全ての企業のパフォーマンスを測定しており、温室効果ガス排出量が比較的 low（高水準）の企業をオーバーウェイト（アンダーウェイト）とします。構成銘柄のウェイトは、世界産業分類基準（GICS）®と同じセクター内のその他の企業に対する各企業の売上高当たり炭素排出量を反映するために調整されます。

S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント・セレクト指数：この指数は、S&P/TOPIX 150（原指数）において温室効果ガスが比較的 low の企業のサブセットのパフォーマンスを測定します。構成銘柄のウェイトは、指数が原指数のリターンに厳密に連動するように最適化されます。

S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント指数：この指数は、S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数（原指数）内の全ての適格企業のパフォーマンスを測定しており、温室効果ガスが比較的 low（高水準）の企業をオーバーウェイト（アンダーウェイト）とします。構成銘柄のウェイトは、世界産業分類基準（GICS）®と同じセクター内のその他の企業に対する各企業の売上高当たり炭素排出量を反映するために調整されます。

S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント・セレクト指数：この指数は、S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数（原指数）において温室効果ガスが比較的 low の企業のサブセットのパフォーマンスを測定します。構成銘柄のウェイトは、指数が原指数のリターンに厳密に連動するように最適化されます。

各指数の構成銘柄は、S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数、S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数、及び S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント・セレクト指数の原指数としての役割を果たしている S&P/TOPIX 150 の採用銘柄です。S&P/TOPIX 150 のサブセットである S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数は、S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント指数及び S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント・セレクト指数の原指数としての役割を果たしています。

適格性基準や構築、維持手順など S&P/TOPIX 150 に関する詳細については、S&P/TOPIX 150 メソドロジーを参照ください (www.spdji.com)。

補足資料

このメソドロジーは、補足資料と併せて読まれることを意図しています。補足資料では、ここに記載されている方針、手順、及び計算に関するより詳しい説明を提供しています。このメソドロジー全体を通して、特定のテーマに関連する補足資料を紹介していますので、詳細についてはそちらをご覧ください。このメソドロジーの主な補足資料や、それらの資料のハイパーリンクのリストは以下の通りです。

補足資料	URL
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)	Equity Indices Policies & Practices
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)	Index Mathematics Methodology
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの浮動株調整メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Float Adjustment Methodology)	Float Adjustment Methodology
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの世界産業分類基準 (GICS) メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Global Industry Classification Standard (GICS) Methodology)	GICS Methodology

このメソドロジーは、このメソドロジー資料により管理される各指数に対する投資家の関心を測定するとの上記の目的を達成するために、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが開発したものです。指数が継続的に目的を達成するように、このメソドロジーに対する変更やこのメソドロジーからの逸脱は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス独自の判断と裁量によって行われます。

適格性基準及び指数構築

指数ユニバース

各リバランス時点で、各指数は、以下の通り原指数の構成銘柄により構築されます。

指数	ユニバース
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数	S&P/TOPIX 150
S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数	S&P/TOPIX 150
S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント・セレクト指数	S&P/TOPIX 150
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント指数	S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント・セレクト指数	S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数

原指数に関する詳細については、各指数メソドロジー資料を参照ください (www.spdji.com)。

指数の計算

S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数は時価総額加重方式を採用しています。S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数、S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント・セレクト指数、S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント指数、及び S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント・セレクト指数は非時価総額加重方式を採用しています。

各指数は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの全ての株価指数で使用されている除数メソドロジーの手法により計算されます。

指数計算に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology) の時価総額加重指数及び非時価総額指数 (Market Capitalization Weighted Indices and Non-Market Capitalization Indices) のセクションを参照ください。

メディア及び利害関係者分析のオーバーレイ

S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数：この指数に対してメディア及び利害関係者分析（MSA）のオーバーレイを使用することはなく、または適用することもできません。

その他の全ての指数：S&P グローバルは、指数内の企業に関連して論争となっている問題に対する日々のフィルタリング、スクリーニング、及び分析のために、環境・社会・ガバナンス・リスクに関するビジネス・インテリジェンスの大手プロバイダーである RepRisk を使用しています。

リスクが示された場合、S&P グローバルではメディア及び利害関係者分析（MSA）を公表します。これには、経済的な犯罪及び汚職や、詐欺、違法な商慣行、人権問題、労働争議、職場の安全性、大参事、環境災害など様々な問題が含まれます。

指数委員会では、MSA により環境問題に対して警告が出ている構成銘柄をレビューし、論争の的になっている企業の活動が指数の構成に及ぼす潜在的影響を評価します。指数委員会が問題となっている企業を指数から除外すると決定した場合、その企業は、次のリバランスから 1 年間にわたり指数に再採用される資格がなくなります。

RepRisk に関する詳細については、www.reprisk.com を参照ください。このサービスは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのほとんどのサステナビリティ指数に対して提供されていますが、指数構築プロセスに直接貢献しているとは見なされていません。

銘柄の複数クラス

S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数及び S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数では、全てのシェア・クラスが指数に含まれるものと見なされ、必要に応じて同一の売上高当たり炭素排出量が割り当てられます。複数シェア・クラスの取り扱いに関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー資料の複数シェアクラス・セクション内のアプローチ A を参照ください。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは、指数構成銘柄の入れ替えを極力抑えるべきであると考えています。企業は一時的に追加基準の 1 つ以上に抵触すると思われる場合があります。しかし、追加基準は指数に追加するときの基準であって、構成銘柄の継続のために用いられることはありません。したがって、指数の構成銘柄が指数の追加基準に抵触すると思われる場合でも、現在の状況が指数変更に値しない限りその銘柄は除外されません。

S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数

構成銘柄の選択：この指数では、S&P/TOPIX 150を原指数として使用します。化石燃料埋蔵量を保有していない企業だけがS&P/TOPIX 150化石燃料フリー指数に含まれるよう、原指数の証券をスクリーニングします。

事業活動に基づく指数からの除外

各リバランス参照日時点で、特定の化石燃料埋蔵量を有するとTrucostが判断した企業は、適格ユニバースから除外されます。

Trucostの判断基準	Trucostの判断基準の説明	Trucostの判断基準 プロキシ	S&P DJI レベルの 判断の基 準
一般炭	その企業が一般炭（発電のために使用される石炭 - 「電力用炭」としても知られている）の確認埋蔵量と推定埋蔵量（2P）を保有している。	2P 化石燃料埋蔵量 ¹ （百万トン/ 百万バレル/10 億立方 フィート/石油換算で 百万バレル）	>0
「その他」（非冶金用）の石炭	その企業が、その他全ての非原料炭、または化学副産物、石炭製練炭、住宅用途、液体燃料、セメント生産、製紙、医薬品、アルミナ精製、フェロクロム、無煙炭などの用途向けの一般炭の使用のために使われる確認埋蔵量と推定埋蔵量（2P）を保有している。これには、一般炭または原料炭のいずれの用途かについては明確に開示されていない全ての石炭埋蔵量が含まれる。		
在来型石油及び非在来型石油	その企業が、従来型石油（原油）または非在来型石油の確認埋蔵量と推定埋蔵量（2P）を保有している。非在来型石油には液化天然ガス（NGL）、オイルサンド、コンデンセート、及び液化石油ガス（LPG）などが含まれる。		
天然ガス	その企業が、天然ガス（メタンを主成分とする自然発生の炭化水素ガスの混合物）の確認埋蔵量と推定埋蔵量（2P）を保有している。		
シェールガス	その企業が、シェールガス（地下の岩石（一般的には頁岩、タイトシルト岩石灰岩、ドロマイトなど）に閉じ込められたガスの確認埋蔵量と推定埋蔵量（2P）を保有している。		
「その他」の石油・ガス	その企業が、石油及び（または）ガスの確認埋蔵量と推定埋蔵量（2P）を保有しているが、特定種類の石油またはガスとして明確に開示されておらず、あるいは石油及びガスの埋蔵量を合計した1つの集合体として開示されている。		

リバランス時点で、スピンオフされた企業には権利落ち日時点のそれぞれの親会社の除外指定が割り当てられ、Trucostがスピンオフされた企業自体を評価するまで、それらの指定が維持されます。スピンオフを除いて、Trucostのカバレッジのない企業は、当該カバレッジを受け取るまで指数採用には不適格となります。

Trucostのメソドロジーに関する詳細については、付属資料1を参照ください。また、Trucostの一般情報については、<http://www.trucost.com>を参照ください。

構成銘柄の加重：構成銘柄は浮動株調整後時価総額加重です。

¹ 2P（確認埋蔵量と推定埋蔵量）とは、埋蔵資源を採取できる確率が50%以上あるものを指します。

S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数及びS&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント指数

適格ユニバース

各年間リバランス時点で、各指数は原指数の構成銘柄から構築されます：

指数	原指数
S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数	S&P/TOPIX 150
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント指数	S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数

売上高当たり炭素排出量

メソドロジーにおいて使用される売上高当たり炭素排出量のデータは Trucost が計算します。売上高当たり炭素排出量とは、企業の年間温室効果ガス排出量（直接的排出量及び最上位の間の接排出量）（二酸化炭素換算（CO₂e）排出量の「メートルトン」として表示）を、対応する年の年間売上高で除したものと定義され、百万ドルで表示されます。

Trucost の年間リサーチ・プロセスでは所定の企業の環境パフォーマンスを評価し、このプロセスの1つのアウトプットが年間の温室効果ガス排出量プロファイルとなります。

Trucost が企業のカーボンスコアを計算しない場合、該当企業は適格ではありません。

Trucost に関する詳細については、付属資料 I を参照ください。

構成銘柄の選択及びウェイト付け：各リバランス時点で、各指数の構成銘柄はそれぞれの原指数の構成銘柄と同じになります。各原指数の構成銘柄は、それぞれの GICS®セクター内でのランク付けプロセスを経ることになります。このランク付けプロセスにより、売上高当たり炭素排出量に関する各企業のパーセンタイル・ランクが決定されます。構成銘柄の浮動株調整後時価総額ウェイトは、原指数のそれぞれの炭素強度の高い企業へのエクスポージャー全体と比較して、この指数の炭素強度の高い企業へのエクスポージャーを減らすために以下の通り調整されます：

- 構成銘柄には、売上高当たり炭素排出量に関するセクター・ランクが割り当てられます。売上高当たり炭素排出量が高い構成銘柄には、売上高当たり炭素排出量が低い構成銘柄と比較してそのセクター内で高いランクが割り当てられます²
- 入れ替えを減らすために、特定のセクターだけが炭素関連によるウェイト調整の可能性の対象となります。構成銘柄の売上高当たり炭素排出量の範囲が 500 以上のセクターが対象となり、ハイポテンシャル市場（HPM）と見なされます。各セクターの範囲は、原指数のセクターの構成銘柄間における最小と最大の売上高当たり炭素排出量の格差として計算されます。
- 構成銘柄の売上高当たり炭素排出量の範囲が 500 未満のセクターの構成銘柄は、ウェイト調整を受けません。これらのセクターについて、炭素関連によるウェイト調整が行われたとしても、入れ替えが増えることにはなりません。
- 各 HPM 内で、各セクターにおけるランク付け上位 3 分の 1 の構成銘柄の指数ウェイトは、当初のウェイトの 30%まで削減され、当初のウェイトの残りの 70%は按分（GICS セクターごとの構成銘柄の売上高当たり炭素排出量の逆に対して）により各セクターの構成銘柄の下位 3 分の 1 に再分配されます。

² 売上高当たり炭素排出量が低い企業は、売上高当たり炭素排出量が高い企業と比べて炭素効率性が高いと見なされています。

S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント・セレクト指数

売上高当たり炭素排出量：原指数の全ての企業は、ランク付けプロセスの対象となります。このランク付けプロセスにより、売上高当たり炭素排出量に関する各企業のパーセンタイル・ランクが決定されます。

メソドロジーにおいて使用される売上高当たり炭素排出量のデータは **Trucost** が計算します。売上高当たり炭素排出量とは、企業の年間温室効果ガス排出量（直接的排出量及び最上位の間の接排出量）（二酸化炭素換算（CO₂e）排出量の「メートルトン」として表示）を、対応する年の年間売上高で除したものと定義され、百万ドルで表示されます。**Trucost** の年間リサーチ・プロセスでは所定の企業の環境パフォーマンスを評価し、このプロセスの1つのアウトプットが年間の温室効果ガス排出量プロファイルとなります。

Trucost に関する詳細については、付属資料 I を参照ください。

構成銘柄の選択及びウェイト付け：各リバランス時点で、原指数の構成銘柄は売上高当たり炭素排出量によりランク付けされます。売上高当たり炭素排出量が最も高い企業の上位 20%は除外されます。ただし、除外された企業の合計が、原指数における **GICS** の個別セクターのウェイトを **50%**以上減少させないものとします。対象となる次の企業を除外することにより、セクターのウェイトが **50%**の基準を超えて減少するが、**55%**以上ではない場合には、その企業は除外されます。対象となる次の企業がすでに **50%**の基準を超えているセクターに属しているか、または対象となる次の企業を除外することにより、セクター・ウェイトが **55%**を超えて減少する場合には、その企業は指数の構成銘柄として残ります。

これらが除外された後に、残りの企業は構成銘柄のウェイトを決定するために最適化プロセスを経ることになります。最適化を通じて、この指数は原指数のリターンに厳密に連動することを目指す一方で、相対売上高当たり炭素排出量が最も高い企業は除外されます。

最適化プロセス：最適化プロセスには、原指数に対するトラッキング・エラーを最小限に抑えることを目的とする相関マトリックスや共分散マトリックスの作成が含まれます。また、最適化ウェイト付け基準により、各リバランスの時点でいかなる単一企業も **0.015%**未満、または **5%**以上の指数ウェイトを持たないようにすることが確保されます。ノースフィールド・インフォメーション・サービスの最適化及びリスク・モデル³により、原指数の企業数の **75%**未満から成る企業の最終リストが作成されます。これにより、ウェイトが極僅かな構成銘柄は除外される可能性があります。

原指数	ノースフィールドのファンダメンタル・リスク・モデル (オプティマイザー)	最適化後の最大構成銘柄数
S&P/TOPIX 150	日本	112

³ リスク・モデルに関する詳細については、www.northinfo.com をご覧ください。

S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント・セレクト指数

売上高当たり炭素排出量：原指数の全ての企業は、ランク付けプロセスの対象となります。このランク付けプロセスにより、売上高当たり炭素排出量に関する各企業のパーセンタイル・ランクが決定されます。

メソドロジーにおいて使用される売上高当たり炭素排出量のデータは **Trucost** が計算します。売上高当たり炭素排出量とは、企業の年間温室効果ガス排出量（直接的排出量及び最上位の間の接排出量）（二酸化炭素換算（CO₂e）排出量の「メートルトン」として表示）を、対応する年の年間売上高で除したものと定義され、百万ドルで表示されます。**Trucost** の年間リサーチ・プロセスでは所定の企業の環境パフォーマンスを評価し、このプロセスの1つのアウトプットが年間の温室効果ガス排出量プロファイルとなります。

Trucost に関する詳細については、付属資料 I を参照ください。

構成銘柄の選択及びウェイト付け：各リバランスの時点で、原指数の構成銘柄は売上高当たり炭素排出量によりランク付けされ、次に売上高当たり炭素排出量が最も高い上位 10%は除外されます。残りの銘柄が選択され、これによって指数が構築されます。

上位 10%が除外された後に、残りの構成銘柄は、構成銘柄のウェイトを決定するために最適化プロセスを経ることになります。

最適化プロセス：最適化プロセスでは、ノースフィールド・インフォメーション・サービスの最適化及びリスク・モデル⁴が使用されます。これには原指数に対するトラッキング・エラーを最小限の2%以内に抑えることを目的とする相関マトリックスや共分散マトリックスの作成が含まれます。また、最適化ウェイト付け基準により、各リバランスの時点でいかなる単一企業も 0.015%未満、または5%以上の指数ウェイトを持たないようにすることが確保されます。

原指数	ノースフィールドのファンダメンタル・リスク・モデル (オプティマイザー)
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数	日本

⁴リスク・モデルに関する詳細については、www.northinfo.com をご覧ください。

指数の維持

リバランス

各指数のリバランスのスケジュール：

指数	有効日*	参照日*
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数	3月、6月、9月、12月の第3金曜日	2月、5月、8月、11月の第3金曜日
S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数	12月の第3金曜日	11月の第3金曜日
S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント・セレクト指数	3月、6月、9月、12月の第3金曜日	2月、5月、8月、11月の第3金曜日
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント指数	12月の第3金曜日	11月の第3金曜日
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント・セレクト指数	3月、6月、9月、12月の第3金曜日	2月、5月、8月、11月の第3金曜日

*有効日及び参照日はともに営業終了後です。

構成銘柄のウェイトは、リバランス月の第2金曜日の直前の水曜日の終値を参照価格として利用することで計算されます。指数の株式総額が計算され、参照日に決定されたウェイトに達するように各構成銘柄に割り当てられます。指数への組み入り株式数は、参照価格に基づいて割り当てられるため、市場の動きの結果、リバランス時点での各銘柄構成銘柄の実際のウェイトは、参照日のウェイトとは異なります。

売上高当たり炭素排出量の更新

S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数、S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント・セレクト指数、S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント指数、S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント・セレクト指数：各企業の売上高当たり炭素排出量は、当該企業の会計年度末から約8カ月後に毎年更新されます。また、コーポレート・イベント（合併・買収、スピンオフなど）や基本データ・ポイントの修正の後も、売上高当たり炭素排出量は必要に応じて更新されます。企業の売上高当たり炭素排出量の更新データは、次のリバランス時にスクリーニング・プロセスにかけられます。

四半期更新

原指数の四半期更新によって構成銘柄の株数と浮動株修正係数（IWV）が変更された場合、その変更は3月、6月、9月、12月の第3金曜日の取引終了後に有効となります。

追加

スピンオフを除いて、指数への追加は通常、リバランス時のみとなります。スピンオフされた企業は、配当権利落ち日の前日の終値をゼロとして、親会社が構成銘柄である全ての指数に追加されます（除数の調整はなし）。スピンオフされた企業が原指数に残る場合、それぞれの **S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数** 及び **カーボン・エフィシエント指数** にも残ります。同様に、スピンオフされた企業が通常取引から数えて少なくとも1日後に原指数から除外された場合（除数の調整はあり）、それぞれの **S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数** 及び **カーボン・エフィシエント指数** から除外されます。

スピンオフの取り扱いに関する一般情報については、「**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)**」を参照ください。

除外

指数の構成銘柄は、買収、合併、上場廃止、破産、無期限の取引停止の後、またはそれぞれの原指数から除外された場合、指数からも除外されることがあります。

指数の構成銘柄が原指数から除外された場合、**S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数** 及び **カーボン・エフィシエント指数** からそれぞれ除外され、指数の構成銘柄が置き換えられることはありません。したがって、指数の構成銘柄は、原指数の構成銘柄と多少異なる場合があります。

S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数 を除いて、**SAM** の **MSA** により警告が出ている構成銘柄についても、指数委員会を対象となっている企業を指数採用の資格がないと判断した場合、指数から除外されることがあります。

S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数 : さらに、**S&P/TOPIX 150** 及び **S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数** の両方の構成銘柄である企業が、化石燃料埋蔵量を保有していることにより現在 **S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数** から除外されている **S&P/TOPIX 150** のその他の構成銘柄を買収した場合、買収企業は買収が有効となった日を以って **S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数** から除外されます。

コーポレート・アクション

この指数は、コーポレート・アクションの取り扱いに関して原指数のメソドロジー及び管理手順に従っています。

S&P/TOPIX 150 のコーポレート・アクションの取り扱いに関する詳細については、www.spdji.com 内の「**S&P/TOPIX 150 メソドロジー**」を参照ください。

コーポレート・アクションの取り扱いに関する一般情報については、「**S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)**」を参照ください。

計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ

この指数は米ドル及び日本円で計算されます。

外国為替レートは **WM/リフィニティブ** のロンドン時間午後 4 時のレートが適用され、これらの指数の計算に使用されます。仲値は **リフィニティブ** のデータに基づいて **WM** 社が計算し、**リフィニティブ** のページ (**WMRA**) に表示されます。

このメソドロジーに詳述されている指数に加え、これらの指数の追加のリターン・シリーズ・バージョンが利用可能な場合もあります。利用可能なバージョンには、通貨バージョン、通貨ヘッジ・バージョン

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス : **S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数** 及び **カーボン・エフィシエント指数メソドロジー**

ン、減衰バージョン、公正価値バージョン、インバース・バージョン、レバレッジド・バージョン、及びリスク・コントロール・バージョンなどが含まれます（ただし、これらに限定されない）。利用可能な指数のリストについては、[S&P DJI メソドロジー及び規制状況データベース](#)を参照ください。

様々な指数の計算に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数算出メソドロジー（S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology）を参照ください。

特定タイプの指数（減衰指数、ダイナミック・ヘッジ指数、公正価値指数、及びリスク・コントロール指数など）を算出するために必要なインプットについては、www.spdji.com で入手可能なパラメータ資料を参照ください。

基準日と過去履歴の入手可能性

この指数の過去履歴の入手可能性や基準日、基準価値は以下の表に示されています。

指数	算出開始日	最初の評価日	基準日	基準価値
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数	02/01/2016	12/30/2011	12/30/2011	1000
S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数	09/16/2011	12/17/2004	12/17/2004	1000
S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント・セレクト指数	02/01/2016	12/19/2008	12/19/2008	100
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント指数	02/01/2016	12/30/2011	12/30/2011	100
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント・セレクト指数	02/01/2016	03/16/2012	03/15/2012	100

指数データ

計算されるリターンタイプ

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスでは、定期的な現金配当の取り扱いが異なる複数のリターン・タイプの指数を計算しています。定期的な現金配当の分類は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが決定します。

- 価格リターン (PR) バージョンは、定期的な現金配当の調整を行わずに計算される。
- グロス・トータル・リターン (TR) バージョンは、源泉税を考慮せずに、配当落ち日の取引終了時点で定期的な現金配当を再投資する。
- ネット・トータル・リターン (NTR) バージョンは、可能な場合、源泉税を控除した後に配当落ち日の取引終了時点で定期的な現金配当を再投資する。

配当落ち日に定期的な現金配当がない場合、3つの指数の日々のパフォーマンスは同一となります。

指数の詳細なリストについては、日々の指数値ファイル（以下、「.SDL」という）を参照ください。

定期的な現金配当と特別現金配当の分類や、ネット・リターンの計算で使用される税率に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの「*株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Procedures Methodology)*」を参照ください。

リターン・タイプの計算に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの「*指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Index Mathematics Methodology)*」を参照ください。

指数ガバナンス

指数委員会

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの ESG 指数を管理する指数委員会がこの指数を維持しています。指数委員会の全ての委員は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社の常勤社員です。指数委員会は定期的に会合を開きます。指数委員会は各会議において、指数構成銘柄に影響を与える可能性のある未解決のコーポレート・アクションや、指数の構成銘柄と市場を比較する統計値、指数への追加候補と見なされる企業、重大な市場イベントなどをレビューする場合があります。さらに、指数委員会は、企業の選択、配当の取り扱い、株数、またはその他の事柄に関するルールをカバーしている指数方針を見直す場合があります。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数の変更や、潜在的に市場に影響を及ぼす可能性のある重要な関連事項に関する情報を考慮します。したがって、指数委員会の協議内容は全て非公開となります。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数委員会は、必要があれば、メソドロジーを適用する際に例外を設ける権利を留保します。本資料や補足資料に記載されている一般的なルールと異なる取り扱を行う場合、お客様は可能なときはいつでも十分な通知を受け取ります。

指数の日々のガバナンスや指数メソドロジーの維持に加え、指数委員会は 12 ヶ月間に少なくとも 1 回、メソドロジーをレビューすることで、記載されている目標を指数が引き続き達成し、データやメソドロジーが依然として有効であることを確保します。場合によっては、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは相談を実施し、外部当事者からのコメントを要請することがあります。

指数の品質管理及び見直しの詳細については、「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」を参照ください。

指数方針

発表

全ての指数構成銘柄は、指数値やリターン計算に必要なデータのために毎日評価されます。毎日の指数算出に影響を与える全てのイベントは通常、「指数コーポレート・イベント・レポート (.SDE)」を通じて事前に公表され、全ての顧客に発信されます。また、コーポレート・アクションに対する通常と異なる取り扱いや、イベントに関する緊急連絡については、必要に応じて電子メールで顧客に送達されます。

詳細については、弊社ウェブサイト www.spdji.com に掲載されている「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」の公表セクションを参照ください。

プロフォーマ・ファイル

コーポレート・イベント・レポート (.SDE) に加えて、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、リバランスごとに各指数について、構成銘柄のプロフォーマ (事前予想) ・ファイルを提供します。プロフォーマ・ファイルは通常、リバランス日の前に日々提供され、その中には、リバランスにおいて有効となる全ての構成銘柄やそのウェイト及び指数組入株式数が収録されています。

リバランスの予定やプロフォーマの提供予定など正確なスケジュールについては、www.spdji.com をご覧ください。

休日のスケジュール

指数は、指数構成銘柄が上場している取引所の全てが正式に休業している日を除き、暦年を通じて毎日計算されます。

年間の休日スケジュールについては、弊社ウェブサイト www.spdji.com を参照ください。

リバランス

指数委員会は、予定されたリバランス日やその前後に生じる市場の休日などの理由により所定のリバランス日を変更する場合があります。かかる変更は、可能であれば適切な事前通知を以て発表されます。

予定外の市場の閉鎖

予定外の市場の閉鎖に関する情報については、「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数の方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」を参照ください。

再計算の方針

再計算の方針に関する情報については、「**S&P** ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数の方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」を参照ください。

計算及びプライシングの中断、専門家の判断、データ階層に関する情報については、「**S&P** ダウ・ジョーンズ・インデックスの株価指数方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Equity Indices Policies & Practices Methodology)」資料を参照ください。

お問い合わせ先

指数に関するご質問については、index_services@spglobal.comにお問い合わせください。

指数データの配信

指数値のデータはS&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト、www.spdji.com、主要なデータ配信ベンダー（以下のコードを参照）、投資関連のウェブサイト、ならびに数々の紙・電子メディア媒体より入手可能です。

ティッカー

以下の表は、本資料がカバーしているヘッドライン指数のリストです。以下の各指数の全てのバージョンも、本資料がカバーしています。本資料がカバーしている指数の完全なリストについては、[S&P DJI メソドロジー及び規制状況データベース](#)を参照ください。

指数 (通貨)	リターン・タイプ	ブルームバーグ
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数 (米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SP15F3UP SP15F3UT SP15F3UN
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数 (円建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SP15F3YP SP15F3YT SP15F3YN
S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数 (米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPTPCEUP SPTPCEUT SPTPCEUN
S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数 (円建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPTPCEJP SPTPCEJT SPTPCEJN
S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント・セレクト指数 (米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPJPCSUP SPJPCSUT SPJPCSUN
S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント・セレクト指数 (円建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPJPCSJP SPJPCSJT SPJPCSJN
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント指数 (米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SP15FCUP SP15FCUT SP15FCUN
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント指数 (円建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SP15FCYP SP15FCYT SP15FCYN
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント・セレクト指数 (米ドル建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPTFCSUP SPTFCSUT SPTFCSUN
S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー・カーボン・エフィシエント・セレクト指数 (円建て)	価格リターン トータル・リターン ネット・トータル・リターン	SPTFCSJP SPTFCSJT SPTFCSJN

指数データ

日次の構成銘柄や指数値のデータについては、申込みにより取得可能です。

商品の詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの www.spdji.com/contact-us にお問い合わせください。

ウェブサイト

詳しくは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト www.spdji.com を参照ください。

付属資料 I – Trucost

Trucost の環境登録リサーチ・プロセス

1. **企業のビジネス・セグメントのマッピング**：Trucost は、Trucost モデルの中で、企業のビジネス・セグメントを 450 以上のビジネス活動にマッピングします。このモデルは、北米産業分類システム (NAICS) に基づいていますが、一部の分野（電力セクターなど）についてはより詳細に分類されています。
2. **データのモデル化プロファイルの評価**：企業のビジネス・セグメントが Trucost のセクターにマッピングされ、各ビジネス・セグメントの売上高の割合が各セクターに割り振られると、Trucost は、企業のデータのモデル化プロファイルを効率的に作り出すことができます。Trucost は環境を含めたインプット/アウトプット (EEIO) モデルを使用し、企業の業務全体にわたる 800 以上の環境面及び業務面の指標に関するデータを評価します。これらのデータは、企業がサプライチェーンに依存している原材料から、企業が業務に使用するために購入する電力にまで及んでいます。
3. **開示情報の収集**：Trucost は、年次レポート、サステナビリティ・レポート、ウェブサイト、及び公に開示されている情報ソースをチェックし、その中から環境パフォーマンス情報を収集します。サードパーティのデータセット（例えば、カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト (CDP)⁵への開示情報など）もレビューします。次に Trucost では、報告された環境パフォーマンス・データを企業、地域、及び事業活動全体にわたり比較できるように、それらのデータをベストプラクティスに対して標準化します。企業の報告エラーを修正する場合、データ管理手順を定め、セクター・スペシャリストによるデータ検証、異常値の自動検出、及び前年実績との比較などを行います。重要な指標が開示されていない場合には、Trucost はモデル化された価値を使用し、欠陥データ分野を評価します。
4. **企業に対するエンゲージメント活動**：次に、Trucost は各企業に対するエンゲージメント活動を実施することにより、環境パフォーマンスを検証し、追加情報を獲得します。各企業は、環境報告サイクルのどの時点でも Trucost のアナリストに問い合わせを行い、直近のデータを提供することができます。これにより、Trucost は最新の企業情報を活用し、データの質を最大化することが可能となります。

Trucost のリサーチ・プロセスに関する詳細、及び Trucost の一般情報については、www.trucost.com を参照ください。

温室効果ガス排出量データ：この指数では Trucost の温室効果ガス排出量データを使用します。温室効果ガス排出量の数量を売上高で除すことにより、企業の炭素強度、つまり売上高当たり炭素排出量を計算します。この指数では、売上高当たり炭素排出量の決定において直接的排出量及び最上位の間の接排出量を使用します。これらの排出量範囲に関する詳細については、[Trucost のよくある質問 \(FAQ\)](#) を参照ください。

Trucost に関する詳細については、www.trucost.com を参照ください。

⁵ CDP は、気候、水、及び森林などの問題に関して企業を調査し、収集した開示情報を集計している非営利慈善団体です。詳細については、<https://www.cdp.net/> をご覧ください。

付属資料II - メソドロジ-の変更

2015年1月1日以降のメソドロジ-の変更は以下の通りです。

変更	有効日（以下の日付の取引終了後）	メソドロジ-	
		変更前	変更後
除外スクリーニング・データの情報源 S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数	2020年6月19日	SAMは除外データの情報源です。	Trucostは除外データの情報源です。
四半期ごとの除外スクリーニングの範囲 S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数	2020年6月19日	FFR 除外スクリーニングは毎年1回、6月の四半期ごとのリバランスの一環として指数ユニバース全体に対して実施されます。3月、9月、及び12月の四半期ごとのリバランスに関しては、ユニバースの追加だけがFFR 除外スクリーニングの対象となります。	FFR 除外スクリーニングは、四半期ごとのリバランスの一環として指数ユニバース全体に対して実施されます。
除外 - MSA オーバーレイの適用除外 S&P/TOPIX 150 化石燃料フリー指数	12/20/2019	SAMのMSAにより警告が出ている構成銘柄についても、指数委員会が対象となっている企業を指数採用の資格がないと判断した場合、指数から除外されることがあります。	--
参照日	09/18/2017	リバランスの参照日は、11月の最終営業日です。	リバランスの参照日は、11月の第3金曜日です。
リバランス間における除外の取り扱い	09/16/2016	環境破壊に関与している企業がリバランス間に指数から除外されることはありません。	SAMが、環境メディア及び利害関係者分析(MSA)のケースとして取り上げた企業は、指数委員会に諮られ、指数から即時除外するかどうかが決まります。除外される場合、対象となっている構成銘柄は、次のリバランスから1年間にわたり指数に再採用される資格がなくなります。
構成銘柄のウェイト調整： S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数	12/18/2015	各銘柄について、元指数の基準ウェイトと売上高当たり炭素排出量の測定値に基づき、炭素スコアを計算します。売上高当たり炭素排出量の範囲（最大 - 最小）が500を超えるセクターは、炭素排出量削減のターゲットとしてハイポテンシャル市場とみなします。各ハイポテンシャル市場のうち、セクター順位が上位3分の1の銘柄は全て、元指数のウェイトの30%までウェイトを圧縮します。これによって浮いたウェイトを、セクター順位が下位3分の1の銘柄に均等に配分します。	各ハイポテンシャル市場のうち、セクター順位が上位3分の1の銘柄は全て、元指数のウェイトの30%までウェイトを圧縮します。当初のウェイトの残りの70%は按分（GICSセクターごとの構成銘柄の売上高当たり炭素排出量の逆に対して）により各セクターの構成銘柄の下位3分の1に再分配されます。
為替レート S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数	12/18/2015	1日の終了時における指数の価値は、ロイターが提供する外国為替レートに基づいて計算されます。	外国為替レートはWM/ロイター社のロンドン時間午後4時のレートが適用され、指数の1日の終了時の計算に利用されます。仲値はロイター社のデータに基づいてWM社が計算し、ロイター社のページ（WMRA）に表示されます。

<p>スピンオフの取り扱い</p> <p>S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数</p>	<p>09/30/2015</p>	<p>S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数の構成銘柄である企業の一部が別会社としてスピンオフした場合、親会社は S&P/TOPIX 150 の構成銘柄である限り、S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数の構成銘柄とします。スピンオフ後の親会社が S&P/TOPIX 150 の構成銘柄であることを条件に、次のリバランス時に当該会社を十分に検討します。</p>	<p>指数内の会社が事業をスピンオフした場合、スピンオフされた企業を指数に追加することが必要となる場合があります。スピンオフされた企業が S&P/TOPIX 150 指数に追加された場合、S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数にも追加されます。スピンオフされた企業は、配当権利落ち日の前日の終値をゼロとして、親会社が構成銘柄である全ての指数に追加されます（除数の調整はなし）。スピンオフされた企業が S&P/TOPIX 150 指数にとどまるならば、S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数にもとどまります。スピンオフされた企業が通常の取引から数えて少なくとも 1 日後に S&P/TOPIX 150 指数から除外されたならば（除数の調整はあり）、S&P/TOPIX 150 カーボン・エフィシエント指数においても同様の措置がとられます。</p>
---	-------------------	---	--

S&P Dow Jones Indices 免責事項

© 2021 S&P Dow Jones Indices. 無断複写・転載を禁じます。S&P、S&P 500、S&P 500 LOW VOLATILITY INDEX、S&P 100、S&P COMPOSITE 1500、S&P 400、S&P MIDCAP 400、S&P 600、S&P SMALLCAP 600、S&P GIVI、GLOBAL TITANS、DIVIDEND ARISTOCRATS、S&P TARGET DATE INDICES、S&P PRISM、S&P STRIDE、GICS、SPIVA、SPDRおよびINDEXOLOGYは、S&P Global, Inc.（「S&P Global」）またはその関係会社の登録商標です。DOW JONES、DJ、DJIA、THE DOW、およびDOW JONES INDUSTRIAL AVERAGEは、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの登録商標は、その他と一緒にS&P Dow Jones Indices LLCにライセンス供与されています。再配布または複製は、全部か一部かを問わず、S&P Dow Jones Indices LLCの書面による許可がない限り禁止されています。本文書は、S&P Dow Jones Indices LLC、S&P Global、Dow Jonesまたはそれらの各関連会社（総称して「S&P Dow Jones Indices」）が必要なライセンスを持たない法域でサービスを提供するものではありません。特定のカスタム指数計算サービスを除き、S&P Dow Jones Indicesが提供するすべての情報は個人とは無関係なものであり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整されたものではありません。S&P Dow Jones Indicesは、第三者にその指数をライセンス供与すること、およびカスタム計算サービスを提供することに関連して報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは、将来の成績を示唆または保証するものでもありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表す資産クラスへのエクスポージャーは、その指数に基づく投資可能な商品を通して利用できる場合があります。S&P Dow Jones Indicesは、第三者が提供する、また指数のパフォーマンスに基づく投資収益を提供しようとするいかなる投資ファンドまたはその他の投資手段についても、スポンサー、保証、販売、販売促進または管理を行いません。S&P Dow Jones Indicesは、指数に基づく投資商品が、指数のパフォーマンスを正確に追跡する、またはプラスの投資収益率を提供することを保証しません。S&P Dow Jones Indices LLCは投資顧問会社ではなく、またS&P Dow Jones Indicesはかかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資の妥当性に関して一切表明することはありません。かかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資決定は、本文書に記載される意見に頼って行われるべきではありません。見込み投資家は、投資ファンドの発行体またはその他の投資商品や手段により、またはそれらを代表して作成されている提供される覚書や類似の文書で詳述される通り、かかるファンドへの投資に伴うリスクを慎重に考慮した後に限り、かかるファンドやその他の手段へ投資することが推奨されます。S&P Dow Jones Indices LLCは税金の顧問会社ではありません。免税証券のポートフォリオへの影響や特定の投資決断の税効果の評価は、税務顧問会社に相談してください。指数に証券が含まれることは、S&P Dow Jones Indicesがかかる証券の売り、買い、またはホールドの推奨を意味するものではなく、投資アドバイスとして見なしてはなりません。

これらの資料は、一般的に公衆が利用可能な信頼できると確信される情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されています。これらの資料に記載される内容（指数データ、格付け、信用関連の分析やデータ、リサーチ、評価、モデル、ソフトウェアやその他のアプリケーション

ンまたはそれからのアウトプット) またはそのいかなる部分(「内容」)も、**S&P Dow Jones Indices**による事前の書面による承認なく、いかなる形式やいかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、複製または配布、もしくはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容は、違法または未許可の目的で使用してはなりません。**S&P Dow Jones Indices**およびその第三者データプロバイダーならびにライセンサー(総称して「**S&P Dow Jones Indices**当事者」)は、内容の正確性、完全性、適時性または利用可能性について保証しません。**S&P Dow Jones Indices**当事者は、理由に関係なく、内容の利用から得られた結果について、いかなる過誤または遺漏に対しても責任を負いません。内容は、「現状有姿」で提供されています。**S&P DOW JONES INDICES**当事者は、商品性または特定目的や利用への適合性、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、もしくは内容がいかなるソフトウェアやハードウェア構成によっても動作することを含むがこれに限定されない、あらゆる明示または黙示の保証も否認します。**S&P Dow Jones Indices**当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連する、いかなる直接的、間接的、付随的、懲罰的、補償的、懲戒的、特別または派生的な損害、費用、経費、法的費用、または損失に対しても(逸失収入または逸失利益、および機会費用を含むがこれに限定されない)、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

S&P Globalは、その様々な部門および事業部の特定の活動を、それらの各活動の独立性と客観性を守るために相互に分離しています。その結果、**S&P Global**の特定の部門および事業部が、他の事業部では利用できない情報を保有している場合があります。**S&P Global**は、各分析プロセスに関連して受け取った特定の非公開情報の秘密性を保持するために、方針および手順を確立しています。

さらに、**S&P Dow Jones Indices**は、証券の発行体、投資顧問、ブローカーディーラー、投資銀行、その他の金融機関および金融仲介機関を含む多くの組織に対して、またはそれらに関連して、広範なサービスを提供しており、従って、推薦、格付け、モデルポートフォリオへ組み入れ、評価または別途言及する場合があります証券やサービスの組織を含め、それらの組織から手数料またはその他の経済的利益を受ける場合があります。

世界産業分類基準(GICS®)は、**S&P**と**MSCI**によって作成され、同二社の独占的財産かつ商標です。**MSCI**、**S&P**、および**GICS**分類の作成または編纂に関与したその他の当事者のいずれも、かかる基準または分類(またはそれを利用することで得られる結果)に関して、いかなる明示的または黙示的な保証または保証も行わず、かかる当事者はすべて、かかる基準または分類に関して、独自性、正確性、完全性、商品性または特定目的への適合性のすべての保証を本書により明示的に否認します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合でも、**MSCI**、**S&P**、その関連会社または**GICS**分類の作成または編纂に関わるいかなる第三者も、いかなる直接的、間接的、特別、懲戒的、派生的、またはその他の損害(逸失利益を含む)について、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

TOPIXは東京証券取引所の商標であり、これを利用するライセンスが**S&P Dow Jones Indices**に付与されています。